

# 各種聖像の成聖祈禱

君や、祝讃せよ。  
我等の神は恒に崇め讃めらる、今も何時も世世に。  
アミン。

## 常套の始め

我等の神や光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。  
天の王慰むる者や、眞実の神、在らざる所なき者、満たざる所なき者や、  
の寶藏なる者、生命を賜うの主や、來たりて我等の中に居り、我等を諸の穢  
より潔くせよ、至善者や我等の靈を救い給え。  
聖なる神、聖なる勇毅聖なる常生の者や、我等を憐めよ。（三次）  
光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

至聖三者や我等を憐めよ、主や我等の罪を潔くせよ、主宰や我等の愆を赦  
せ、聖なる者や臨みて我等の病を癒し給え、悉く爾の名に因る。  
主憐めよ。（三次）

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。  
天に在す我等の父や、願わくは爾の名は聖とせられ、爾の国は來たり、爾の旨  
は天に行わるが如く地にも行われん、我が日用の糧を今日我等に與え給え、  
我等に債ある者を我等免すが如く、我等の債を免し給え、我等を誘に導か  
ず、猶我等を凶悪より救い給え。

蓋國と權能と光栄は爾父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に。  
アミン。  
主憐めよ（三次）。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。  
來たれ、我等の王神に叩拝せん。  
來たれ、ハリストス我等の王神に叩拝俯伏せん。  
來たれ、ハリストス我等の王と神の前に叩拝俯伏せん。

※(成聖する聖像の種類によって、以下の聖詠と祝文を使い分ける。)

## 一、救世主の聖像に

### 第八十九聖詠

主よ、爾は世世に我等の避所たり。山未だ生ぜず、爾未だ地と全世界とを造らざる先、且世より世までも爾は神なり。爾人を塵に帰らしめて曰う、人の子よ、帰れど。蓋爾が目の前には、千年は過ぎし昨日の如く、夜間の更の如し。爾は大水の如く彼等を流す、彼等は夢の如く、朝に生うる草の如し、朝には花咲きて且青し、暮には刈られて稿る。蓋我等は爾の怒に因りて消え、爾の憤に因りて惶れ惑う。爾は我等の不法を爾の前に置き、我等の隠れたる事を爾が顔の光の前に置けり。我等が悉くの日は爾が怒りの中に過ぎ、我等は我が歳を失うこと音の如し。我が歳の数は七十年、或いは健なれば八十年なり、其の壯なる時も劬勞と疾病あり、蓋其過ぐること速にして、我等飛び去る、其間

か爾が怒りの力を知り、又爾を畏るる度に依りて、爾の憤りを識らん。願わくは我等に我が日を算うることを教えて、智慧の心を獲しめ給え。主よ、面を回せ、何の時に至るか、爾の僕を憐み給え。夙に爾の憐みを以て我等に飽かしめよ、然せば我等生涯歓び楽しまん。爾我等を撲ちし日、我等が禍に遭いし年に代えて、我等を楽ましめ給え。願わくは爾の工作は爾の諸僕に著れ、爾の光栄は其諸子に著れん。願わくは主吾が神の恵は我等に在らん、願わくは我が手の工作を我等に助け給え、我が手の工作を助け給え。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

アリルイヤ、アリルイヤ、アリルイヤ、神や光栄は爾に帰す。(三次)  
主憐めよ。

### 詠輔

### 司

全能の神萬物を造りし主や、爾は至上の恩寵及び永久の救を賜う者なり、恩寵の至らざる処なき主や、爾自ら聖神を遣わし、此の聖像に福を降し、此の聖像

### 成聖祝文

に由りて爾に祈祷する者に天より寵佑を賜い、及び之に由りて身体の壮健と靈の救贖を賜う無形の力を降し給え、我が主イイスス・ハリストスの名に因りてなり。

アミン。

## 二、諸聖人の聖像に

主よ、爾我を試みて我を識る。我が坐し、我が起つことは、爾之を識る、爾遠きより我の念慮を知る。我が往くにも、我が息うにも、爾我を環る、我が悉くの途は爾之を知れり。我が舌未だ言なきに、爾、主よ、已に全く之を識る。爾前後より我を圍み、爾の手を我に置く。爾の知識は我が為に奇異なり、高尚なり、我之を測る能わず。我安に往きて爾の神を避けん、安に走りて爾の顔

を逃れん、天に升らんか、爾彼處にあり、地獄に降らんか、彼處にも爾あり、暁に翼を取りて、海の極に移らんか、彼處にも爾の手我を導き、爾の右の手我を援けん。或は云わん、闇冥は我を隠し、我を環る光は夜とならんと、然れども闇冥も爾の前に暗からしめざらん、夜も明なること晝の如く、闇冥は光の如し。蓋爾我が臓腑を造り、我が母の腹の中に我を織れり。我爾を讚美す、蓋我奇妙に造られたり。爾の作為は奇異なり、我が靈全く之を知る。我が奥密に造られ、腹の深處に形づくらるる時、我が骨爾に隠れず。我が胚胎は、爾の目之を見たり、我が為に定められし日は、其も未だあらざりし先に、皆爾の書に記されたり。神よ、爾の念慮は我が為に何ぞ高き、其数は何ぞ多き。我之を計らんか、然れども其多きこと沙に過ぐ、我寤る時、尚爾と偕にす。嗚呼神よ、願わくは爾惡者を擊たん、血を流す者よ、我に離れよ。彼等爾に向いて悪を言い、爾の敵は空しきことを謀る。主よ、我豈に爾を疾む者を疾まざらんや、我豈に爾に逆う者を厭わざらんや、我甚しき疾を以て彼等を疾み、彼等を以て我が敵となす。我危き途に在るにあらずや、乃我を永遠の途に向わしめ給え。

光栄は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。

アリルイヤ、アリルイヤ、アリルイヤ、神や光栄は爾に帰す。(三次)

主に祈らん。  
主憐めよ。

### 成聖祝文

司主神全能者我が先祖の神や、爾は旧約の時、木と金と縫繡を以てヘルワイムの像を会幕に置くを命ぜり、今も爾に悦ばるる諸聖人の像と形を棄てず、爾の忠なる僕をして此を見て、彼等を讃美し、又爾を讃揚し、且つ彼等の渡世と行為に倣う者と致させ給え、彼等は己の生命と行為を以て、爾の恩寵に依りて、天国を受くるを得たり、祈る、爾の聖なる(使徒、又は預言者、成聖者、致命者、克肖者)「某」の名と記憶の為に書きし此の像を看、爾の天の福祉を降して是を聖にし給え、凡そ之を尊び、此の前に於いて爾に叩挙、祈祷し、此の聖なる「某」の傳達を以て、爾に呼ぶ者の祈りを聴き入れ、彼等を諸の悲哀、難難、靈形の病より救い、又其聖なる「某」の祈祷に依りて、彼等に其望む処の爾の豊なる恩

詠寵と仁慈を與え給え、  
蓋爾は成聖の泉と萬善を與うる者なり、我等爾の独生子と至聖至善にして生命を施す爾の神とに光栄を献ず、今も何時も世世に。  
アミン。

※(次いで、司祭は聖像に聖水を灌ぎながら曰く。)

司此の聖像は、至聖なる神の恩寵と此の聖水の灌がるるを以て成聖せらる、父及び子及び聖神の名に依りてなり。(三次)  
司アミン。(毎時応答する)

睿智。

至聖なる生神女や、我等を救い給え。

司ヘルワイムより尊くセラフィムに並びなく榮え、貞操を破らずして神言を生みし、  
実の生神女たる爾を崇め讃む。  
司ハリストス神我等の持や、光栄は爾に帰す、光栄は爾に帰す。

詠

光榮は父と子と聖神に帰す、今も何時も世世に、アミン。主憐めよ（三次）。  
福を降せ。

司  
ハリストス我等の真の神は、その至淨なる母、克肖捧神なる吾が諸神父、爾の聖  
なる（使徒、又は預言者、成聖者、致命者、克肖者）〔某〕、亞使徒日本の大主教  
聖ニコライ、及び諸聖人の祈祷に因りて、我等を憐み救わん、彼は善にして人  
を愛する主なればなり。  
アミン。